
本学におけるFD活動の一環として実施しております「授業アンケート」へのご理解とご協力を感謝申し上げます。

今回のFDニュースでは、平成29年度教育学部後期授業アンケート及び平成30年度学部授業アンケートフィードバック調査結果及び前期学部中間アンケート実施状況調査について、報告いたします。

1. 平成29年度教育学部後期授業アンケート

1. 調査の概要（図1.1および1.2）

実施期間：2018年1月15日（月）から2月2日（金）の3週

調査対象科目：受講登録者6名以上の全授業（集中講義と不特定科目は対象外）

対象科目数：356科目

うち実施科目数：306科目（調査実施率は86.0%）

（調査票が未回収の科目は50科目，調査票の全てが白紙の科目は0科目）

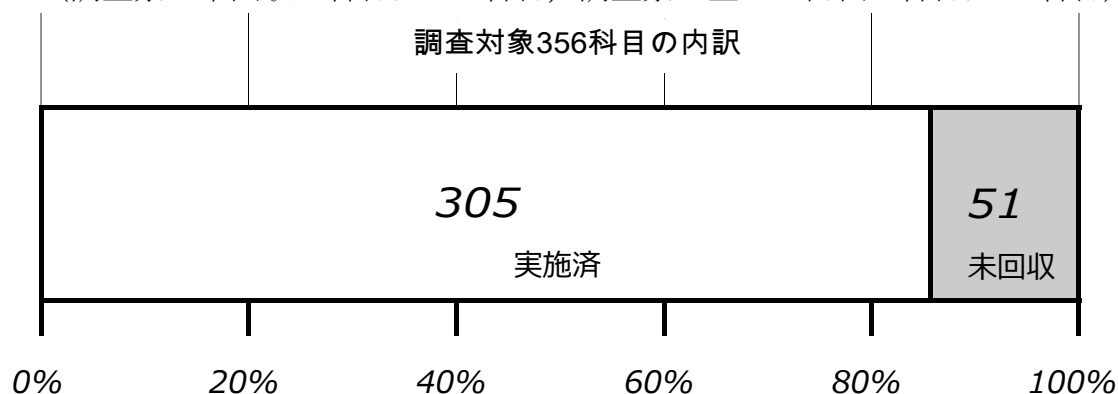


図 1.1. 調査実施科目と調査票未回収科目数（調査実施率は86.0%）

実施科目の履修者数：12,167名

うち回答者数：9,895名（実施科目に対する回答率は81.3%）

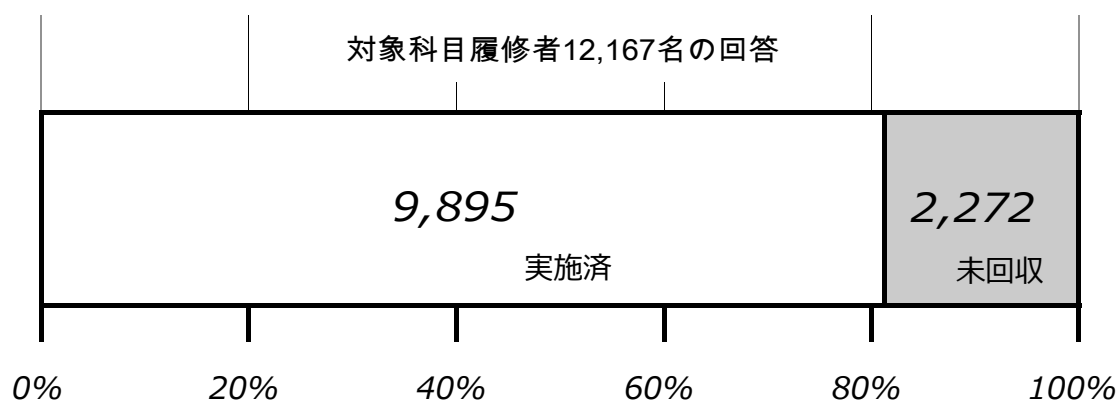


図 1.2. 対象科目履修者（延べ）の回答状況（実施科目に対する回答率は81.3%）

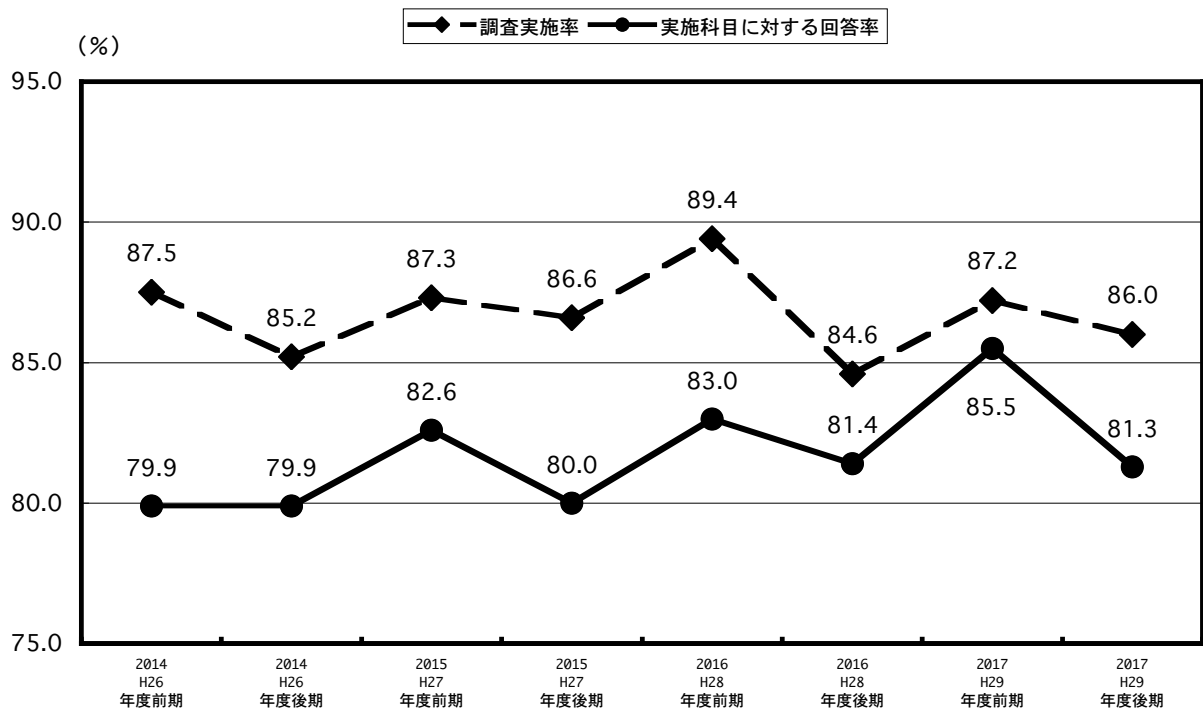


図 1.3. 調査実施率と実施科目に対する回答率の経年変化

2. 調査結果の概要

2.1. 当該科目の受講動機 (図 2.1)

当該科目を受講した動機は、「必修だから」という回答が最も多く、次に「興味・関心」が続いた。この質問項目は複数回答を認めていることから、「必修」かつ「興味・関心がある」という回答がもう少し増えてもよいと期待される。

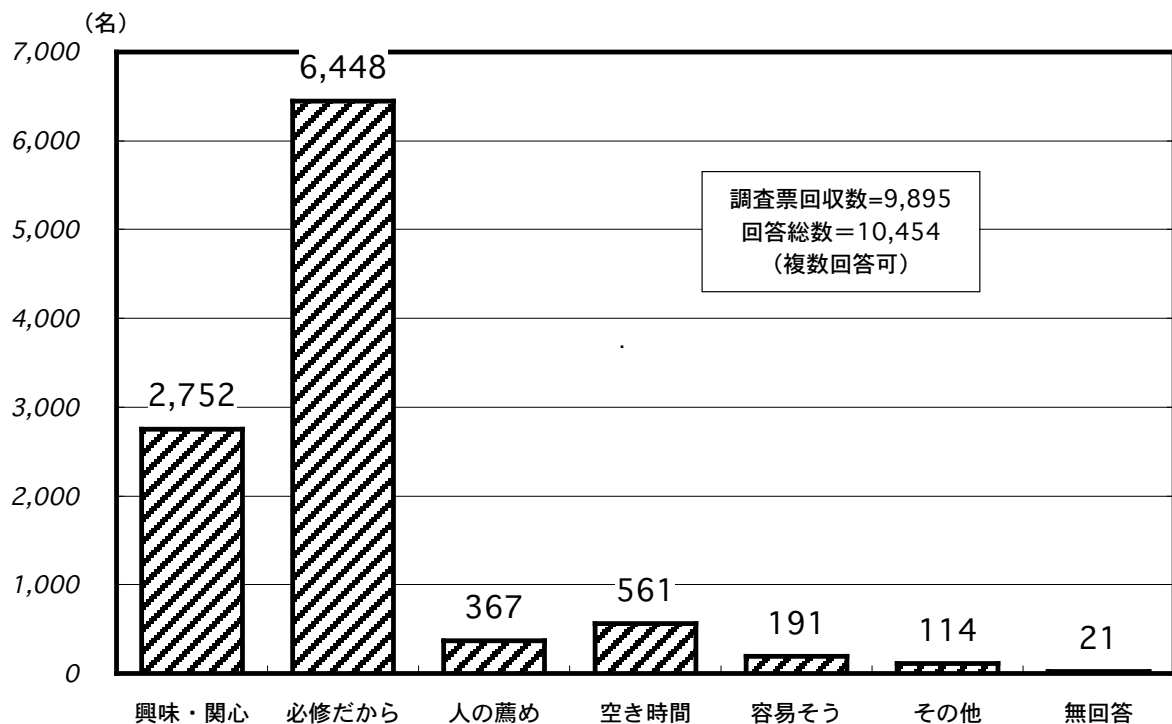


図 2.1. 調査実施科目と調査票未回収科目数 (調査実施率は 86.0%)

2.2. 質問項目ごとの回答の内訳（図 2.2）

Q2 から Q16 までの回答は 4 段階の択一選択式となっているので、上下 2 項目ずつで分断し、肯定的な回答と否定的な回答とに分けて結果を解釈すると、概ね肯定的な回答であると考えられる。これは、従前からの傾向と同様である。

しかし、Q2 シラバスの参考状況 (2,612 名, 26.4%), Q4 授業時間外の学習 (2,194 名, 22.2%), Q9 教員になる意欲や動機の向上 (652 名, 6.9%) の項目には、「ほとんど〇〇〇ない」という回答（図 2.2 中の左側黒い部分）が目立つ。

また Q16 の過去の結果の閲覧状況については、7,446 名と、75.3% もの学生が閲覧していないことから、閲覧方法や活用の仕方を含めて、学生に周知する必要があると考えられる。ただし、そもそも過去の結果の活用方法（閲覧した上での具体的なアクション）には、どのようなことが考えられるのかということについては、今後の検討課題として残されており、平成 30 年度アンケートからは、この質問はひとまず除外することとした。

なお、平成 30 年度のアンケートからは Q9 の文言を「この授業には、教員になる意欲を高める内容や取り組みが含まれていたと思いますか。」（下線部筆者）と少し変更したことにも留意して、今後の分析等につなげる必要がある。

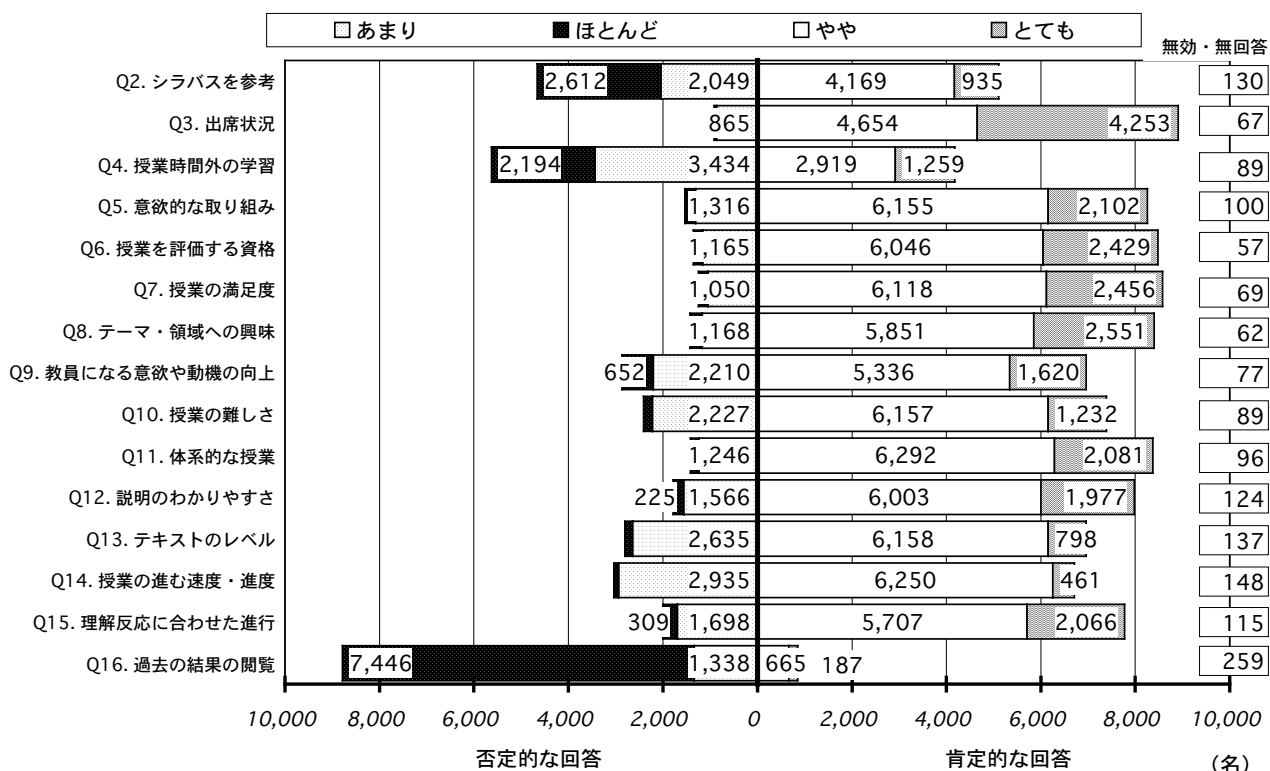


図 2.2. 質問項目ごとの回答の内訳（全回収数は 9,895 名，回収率は 86.0%）

2. 平成30年度前期授業アンケート活用状況調査及び

中間アンケート実施結果調査の結果報告

1. 調査の概要

前期及び後期の授業の後半に実施をお願いしております学部授業アンケートにつきまして、アンケートを実施いただきました皆様に集計結果をお返ししています。お返しした結果の活用状況について、調査を行いました。同時に、本年5月にお問い合わせいただきました「平成30年度前期 授業中間アンケート」の実施状況につきましても調査を行いましたのでご報告します。アンケートの回収枚数は常勤・非常勤合わせて76枚でした。

2. 学部授業アンケートフィードバック調査の結果

問1. 前年度等に実施した授業アンケート結果を平成30年度前期の授業にフィードバックしている

項目	回答数	比率
はい	55	72.4%
いいえ	4	5.3%
前年度等にアンケート未実施	16	21.1%
回答なし	1	1.3%
計	76	100%

問2. フィードバックしていない理由についてお聞かせください。

- ・受講生が異なるので
- ・学年によって学力差があるため
- ・その必要を感じないので
- ・特に見直さなければならない要素はみあたらなかった

【問1で「はい」と回答された方から】

- ・大きな教室のため学生が分散して座っていたので集中力に欠ける傾向があったので、座席を指定しグループ・ディスカッションとした。

【問1で「前年度等にアンケート未実施」と回答された方から】

- ・前年度に特専はアンケートの必要なしとおうかがいしたため
- ・今年度からの勤務だから

問3. フィードバックされた内容についてお聞かせください（複数回答可）

項目	回答数	比率
時間外の学習時間を見直した	9	6.8%
意欲的に取り組めるよう対応した	15	11.4%
テーマ・領域を見直した	8	6.1%
教職への意欲・動機が高まるよう対応した	11	8.3%
難易度を見直した	13	9.8%
体系的でまとまった授業を心掛けた	4	3.0%
授業の説明をわかりやすくした	24	18.2%
テキスト(配布資料など)のレベルを見直した	11	8.3%
速度(進度)を見直した	16	12.1%
受講生の理解や反応を受けとめるようにした	13	9.8%
その他	8	6.1%
計	132	100.0%

【その他の回答】

- ・授業で配布するレジュメの内容を見直した ・テキスト（配布資料など）の使用方法を見直した
- ・配布プリントの文字を見やすいフォントに変更した ・配布資料を多くした
- ・時事問題や課題を入れた ・学生が興味をもつことについて教材を入れ替えた
- ・テキストのテーマを見直した
- ・アンケート結果を全てグラフ化して学生に示した

【「その他」以外の回答をされた方から】

- ・とても失礼な学生の記述に心を痛める

7割以上の先生方が、前年度等に実施した授業アンケート結果を授業にフィードバックしていると回答しておられます。フィードバックの内容は、授業の説明をわかりやすくする、速度（進度）を見直す、難易度を見直すなど受講生の理解度に合わせる工夫と、意欲的に取り組めるように対応をする、受講生の理解や反応を受けとめるようにするなど受講生への配慮が多く見られました。一方、フィードバックしていない理由として、受講生が異なる、その必要を感じないということが挙げられていました。問3の選択肢およびその他の回答にありますように、フィードバックにはさまざまな内容や方法があります。1人でも多くの先生方に授業アンケートの結果をご活用いただければ幸いです。

3. 前期学部中間アンケート実施状況調査結果

問1. 独自作成のものも含め授業中間アンケートを実施した

項目	回答数	比率
はい	55	72.4
いいえ	21	27.6
回答なし	0	0.0
計	76	100.0

問2. 授業中間アンケートを実施しなかった主な理由についてお聞かせください。

【少人数・授業の特性のため】（5件）

- ・履修者が少なかったため ・出席者数が5名程度と少ない週が続き、実施しにくい状況であった
- ・人数が少ない。毎回質問等をきいて、次回の授業にいかしている。
- ・人数が4人であり、アンケート実施対象の講座ではなかったため。
- ・グループプレッソンの形態をとっているため全体に向けてのアンケート実施は困難であった
- ・実技の為、動き、雰囲気理解できる

【時間不足のため】（3件）

- ・時間の余裕がありませんでした ・授業内容の進行上時間がとりづらかった
- ・実施するつもりで2週にわたって用紙を準備したが、授業が思った以上に進まず、時間的余裕がなくなった。

【毎回の授業で実施しているため】（2件）

- ・ミニレポート etc で意見は毎回聞いているので
- ・レポートの中に感想、振り返りを書く項目をつくったので
- ・毎回、小テスト及び10点満点の授業評価及び感想を行っている。

【アンケート実施方法及び意義に対する疑問から】（5件）

- ・やり方がわからない
- ・前年度中間アンケートと期末アンケートの結果に違いがみられた。好意的すぎて改善しようがなかった。
- ・時間をとられるわりに、学生からのコメントが少ない
- ・前年度の全体アンケートを参考に15回の計画をたてている。また7年目であり、毎年の内容はほぼ同じである。中間アンケートは不要と思う。

【その他】

- ・以前一度実施しましたが、特別専攻科は必要ないといわれたため…。

問3. 使用した様式について

項目	回答数	比率
FD委員会の様式	49	89.1
独自の様式	5	9.1
回答なし	1	1.8
計	55	100.0

問4. 中間でのアンケートを実施することについて

項目	FD委員会 様式使用	独自様式 使用	回答なし	計	比率
意義があった	25	2	1	28	50.9
どちらかというと意義があった	15	2	0	17	30.9
どちらかというと意義がなかった	3	1	0	4	7.3
意義がなかった	0	0	0	0	0.0
回答なし	6	0	0	6	10.9
計	49	5	1	55	100.0

問5. 授業中間アンケートの結果を受けて、授業内容・方法を変えた点があれば具体的にお聞かせください。

【実施・FD委員会様式使用】

- ・授業方法に関して、他専攻の学生の授業内容の定着を確かなものにするために、発問や個別指導にも心を砕いた。 ・説明をわかりやすくするように心掛けた
- ・個別に指名して発言してもらうようにした ・授業中の指名が公平になるように心がけた
- ・映像の使い方（眠くならないよう対応ワークシートをつくった）
- ・教材・教具に一部変更を加えた ・板書の速度・量を考慮した
- ・説明が早いという指摘があったため、板書や話すスピードをゆっくりするように心がけている。
- ・パワーポイントの説明をより分かりやすくした。グループワークの時間を調整
- ・スライドの送りをゆっくりした
- ・授業の速度を少し速めて、学生が実際に指揮を実習する時間を増やした
- ・配布資料に学生自身が書き込む箇所を少し増やすようにした。
- ・レジュメの穴埋めか所に番号をつけるなどした。例：(4 _____)
- ・配布資料が多いとの意見があったので、必要最小限の資料しか用意しなくなった
- ・グループ討議の方法や照明について ・新しいペアで活動させるようにした。
- ・小テストを行うこととした ・評価についての説明をくわしく。
- ・掘り下げた内容がおもしろいという感想があったので、専門分野の中の身近な問題をより盛り込むようにした。
- ・学生が望む教採試験のHow to（予備校的な授業）は「概論」という性質上導入しにくいものの、過去問を配布してモチベーションを高めるなどの工夫は一層の充実を図りたい。
- ・内容や方法をすぐに変えるのは難しいのでもう少し考えたいと思います。
- ・受講者から「ちょうどよい」とのことであったので変更はありません
- ・良好だったので、特に変更なし
- ・特になし。ある程度の（ねらい通りの）評価が得られていたため。 ・特になし（2件）

【実施・独自の様式使用】

- ・制作時間や提出物の記入時間に余裕をもたせている。 ・特になし

【未実施・独自の様式使用】

- ・フィードバックがよかったので、大きい変化をしないと思います

問6. 授業へのフィードバックの内容について、お聞かせください（複数回答可）。

項目	FD委員会 様式使用	独自様式 使用	計	比率
時間外の学習時間を見直した	2	0	2	2.3
意欲的に取り組めるよう対応した	11	1	12	14.0
テーマ・領域を見直した	2	0	2	2.3
教職への意欲・動機が高まるよう対応した	5	1	6	7.0
難易度を見直した	4	1	5	5.8
体系的でまとまった授業を心掛けた	5	1	6	7.0
授業の説明をわかりやすくした	13	1	14	16.3
テキスト(配布資料など)のレベルを見直した	6	1	7	8.1
速度(進度)を見直した	12	1	13	15.1
受講生の理解や反応を受けとめるようにした	12	3	15	17.4
その他	4	0	4	4.7
計	76	10	86	100.0

【その他の内容】

- ・ 去年度、私の論に批判的な意見も少しあったのでその件について質問したが、今年度は批判的意見はほとんどなし。
- ・ 配布資料への書き込みを学生に促すようにした ・ 教材・教具に一部変更を加えた
- ・ 授業のすすめ方（スライドの送り）を見直した

問7. FD委員会様式の「授業中間アンケート」の設問について、お聞かせください。

項目	FD委員会 様式使用	独自様式 使用	様式回答 なし	アンケート 実施せず	回答なし	計	比率
改善の余地あり	4	1	0	1	0	6	8.0
現状のままでよい	43	2	1	9	0	55	73.3
回答なし	2	2	0	10	0	14	18.7
計	49	5	1	20	0	75	100.0

【改善の余地あり】

- ・ 「難しすぎる」「速すぎる」など、自身の努力を授業のせいにする姿勢を助長するようなアンケートは逆効果になることが懸念されます
- ・ アンケートの集計方法について、授業を受講する学生の人数（小中大）別に集計をしたらどうでしょうか。小、大ではかなり結果が異なるように思いますが…。
- ・ 新学習指導案の内容についてより深くたずねるものにしてほしい ・ 期末と同じ形式が良い。
- ・ 全ての設問を5件法もしくは4件法で統一してほしい ・ 名前記入式にするのはどうでしょう

【回答なし】

- ・ アンケートの公開性: 中間アンケートや終了後アンケートの結果を次に受講する学生が見れるようにしてほしい。

55名の先生方が中間アンケートを実施したと回答されました。実施された方の8割以上が中間アンケートに「意義があった」もしくは「どちらかという意義があった」と回答しており、中間アンケートを活用していただいていることがわかります。中間アンケートの結果を受けて授業を改善した内容については、説明をわかりやすくした、速度（進度）を見直した、受講生の理解や反応を受けとめるようにしたという回答が

多く見られました。一方、実施しない理由としては受講者が少数、時間が足りない、毎回の授業で実施しているという理由が挙げられていました。また、中間アンケートの実施方法や意義に対して疑問を示された先生もおられました。

中間アンケートの様式については、FD委員会の様式を利用された先生の多くが現状のままでよいとお答えになっていましたが、回答の選択肢の改善、記名式にするなどのご意見もいただきました。

全体として、多くの先生方が授業アンケートや独自の方法を利用して、学生からの反応を受けとめ、熱心に授業改善をしておられるということがわかりました。本アンケートを通じて、回答してくださった先生方のさまざまな工夫について共有することで、今後の授業改善に少しでも役立てていただければと思います。アンケート結果やアンケートを通じていただいたご意見は、今後のFD活動の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

問い合わせなどがありましたら、下記の委員までお願いいたします。

FD委員会委員：太田（委員長）、神代（副委員長）、佐藤（美）、小松崎、東村

（事務担当：河原田、山本、鈴木）